



第14回 妊娠と 地域女性のくすりの 悩みの支援と情報提供ができる かかりつけ薬剤師になる!!

保険薬局薬剤師向け「妊娠と薬情報センター」研修会

本邦の大きな課題である少子化対策の一環として、疾患を持つ女性の妊娠や妊娠中の薬剤使用に関する問題を含めた女性の健康支援の重要性は増えています。2005年に厚生労働省事業として発足した「妊娠と薬情報センター」では、これまでに全国47都道府県の拠点病院の協力のもと20000件を超える相談症例に対応し、相談実績に基づいた様々な研究成果をあげています。

2018年から保険薬局薬剤師(かかりつけ薬剤師)を対象とした研修会を定期開催しており、ご参加いただいた多くの先生方が、妊娠・授乳と薬に関する知識を深め、地域の妊婦・授乳婦および妊娠を考える女性の相談対応に役立ててくださっています。今後さらに、当該分野の確かな情報発信を強化するためには、より広い領域の医療者の皆様のご協力が必要です。研修会を通して、適切な情報提供を行うための基盤作りをしていただくとともに、悩みをかかえる女性を地域の拠点病院の相談窓口につなげるサポートをお願いしたいと考えております。

先生方の日々の診療にお役立ていただけるよう、模擬演習を交えた充実したプログラムを準備しておりますので、是非ご参加ください。

2023年

7月2日(日)

10:00~16:00 WEB開催

参加費 5,000円(資料送付代込み)

すべての時間参加された参加者全員に修了書が発行されます

※年間パスポートは使えません

定員:保険薬局薬剤師 300名

日本薬剤師研修センター研修受講単位
3単位(申請予定)

研修内容(研修受講単位対象は第2部となります)

プロローグ

【第1部】

10:00~10:30 妊娠と薬情報センターの理念・活動実績とこれから

◎講師 妊娠と薬情報センター センター長(医師) 村島温子

妊娠と薬情報センター
に関わる知識研修

【第2部】

10:30~11:00 妊娠と薬の分野で必要な産婦人科の基礎知識

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉

11:00~11:30 妊娠中の薬に関する考え方とカウンセリング方法

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター・薬剤部兼務(薬剤師) 三浦奇子

11:30~12:20 授乳中の薬に関する考え方とカウンセリング方法

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

～昼食休憩～

妊娠と薬情報センターの
紹介・関わり:技能研修

13:00~14:00 妊娠と薬情報センターでの相談業務の実際

～休憩10分～

エピローグトーク

14:10~15:50 妊娠・授乳相談への基本対応に関する模擬演習

(症例提示・発表・解説 妊娠相談1例、授乳相談2例)

15:50~16:00 【まとめ】アンケート記入と質疑応答

申込方法: HAP研修申込管理システム(NPO法人HAPのHPに掲載)よりお申し込みください

(原則開催3日前締切とさせていただきます。直前にお申込みの場合は資料送付が後日となりますので、あらかじめご了承ください)

日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

*研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。

主催: 特定非営利活動法人 Healthy Aging Projects for Women

共催: 妊娠と薬情報センター 妊娠と薬情報研究会

申し込みはこちら

